

なかしまかいがん  
【3】中島海岸

1.概要

中島海岸は、津谷川河口左岸北側に約2kmに渡って延びる海岸であり、区域の北部は崖海岸、南部は砂浜海岸となっている。南部の砂浜海岸は「日本の白砂青松百選」に選ばれる海水浴場として利用されている。

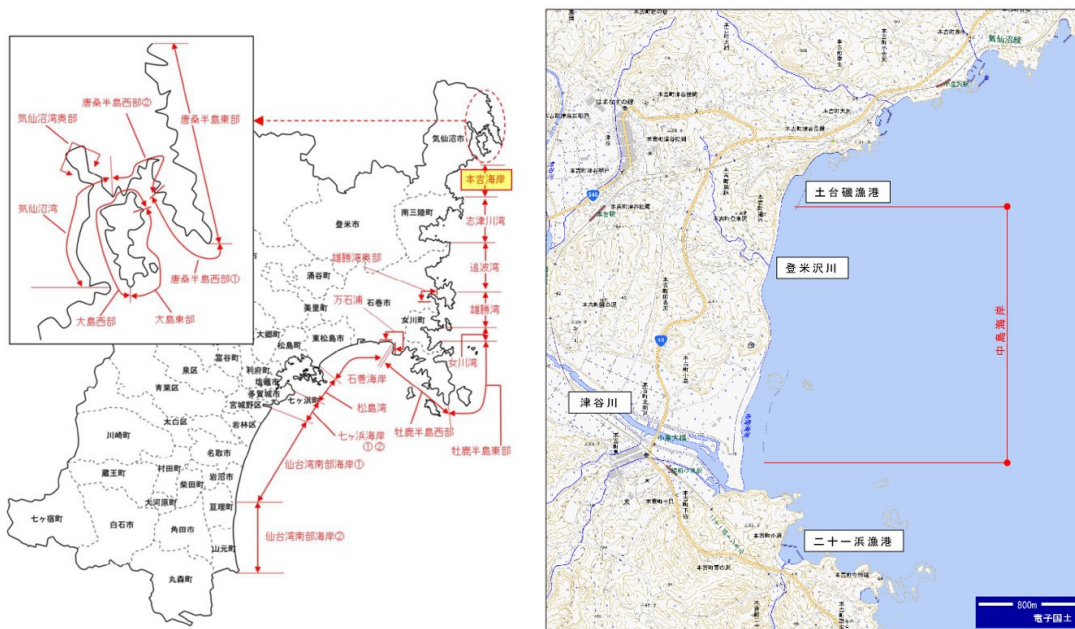


図 4-3-1 位置図【中島海岸】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

中島海岸では、東北地方太平洋沖地震により20mを越える津波が来襲し、汀線が約200m後退するとともに最大約5mの洗掘を受け、海岸付近の地形が大きく変化した。





図 4-3-2 震災前後の中島海岸の状況【中島海岸】

(2) 被災状況

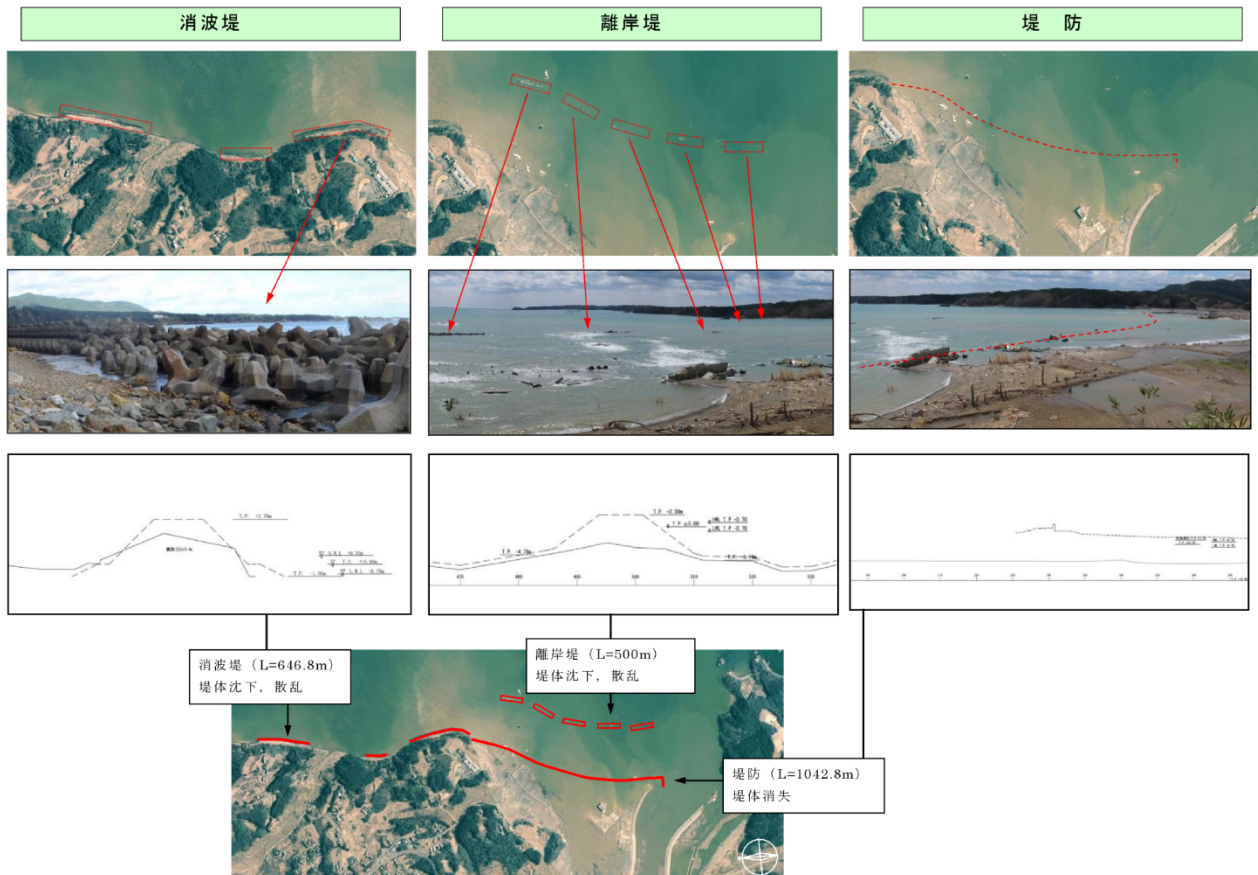


図 4-3-3 被災状況【中島海岸】

## 3.復旧計画

## (1) 地元地域との合意形成

津谷川及び隣接する中島海岸の災害復旧計画については、10回以上にわたり全体説明会や振興会毎に説明会を開催し、平成25年11月の説明会において地域の方々から合意をいただいた。

しかしながら、景観・環境などへの配慮に対し引き続き検討するよう要望もあったことから、これらの要望事項について出来るだけ地元の意見を取り入れながら、よりよいものを造るという観点から、地元住民が主体となる「検討ワーキング」を設置するとともに、専門的な評価を行うため「中島海岸及び津谷川災害復旧事業に関する検討会」を設置し、「検討ワーキング」を4回、「検討会」を3回開催して、「要望事項に関する整備方針」をとりまとめた。本整備方針については、平成26年7月29日に開催した全体説明会で地域の方々より御了承をいただいた。

## (2) 復旧方針（三陸南沿岸海岸保全基本計画（平成28年5月変更）より）

- ・津波・高潮に対する安全性を確保するため、国が策定した基準に基づき「頻度の高い津波（L1津波）」に対応する堤防高（T.P.+14.7m）の整備を行う。
- ・侵食に対する安全性を確保するための整備を行う。
- ・施設整備に際しては、砂浜等の海域環境に留意する。
- ・砂浜へのアクセス、レジャー等の砂浜利用に配慮する。

## (3) 工事概要

- ・復旧延長 L=800.4m
- ・復旧堤防高 T.P.+14.7m
- ・離岸堤 N=5基(500m(100m/基))

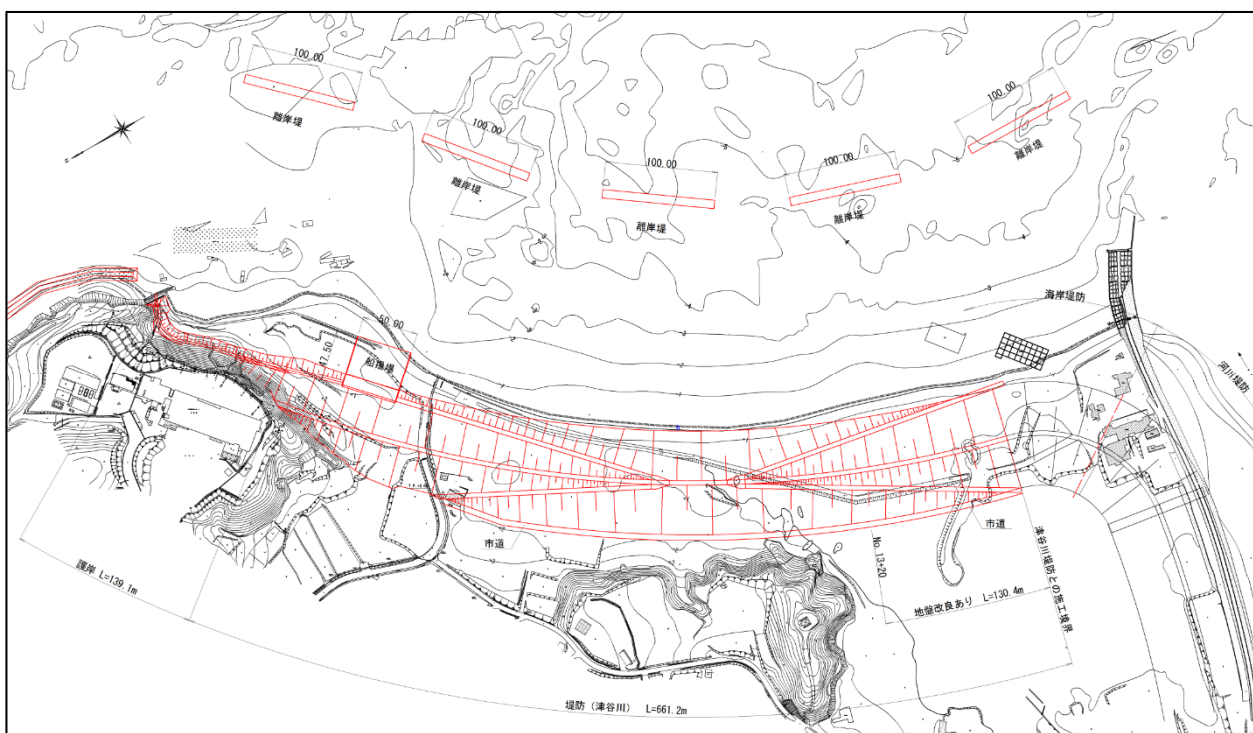
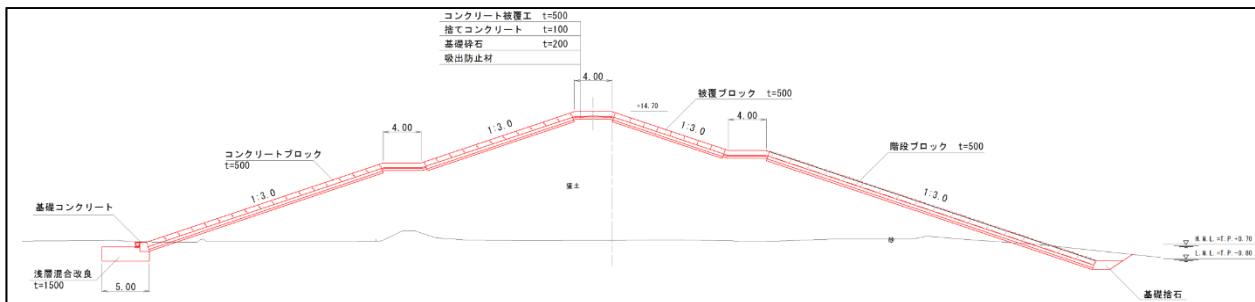
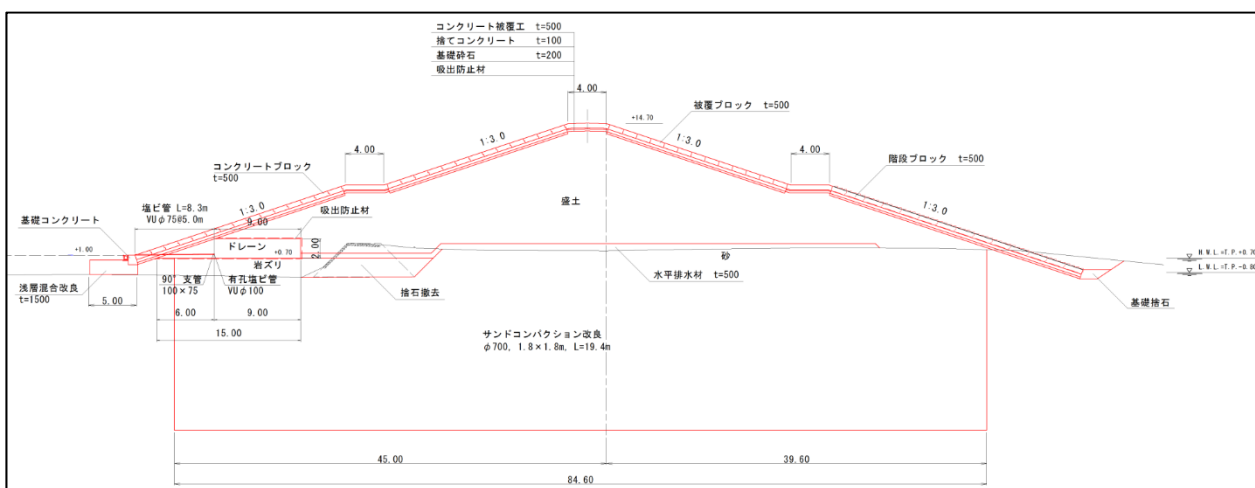


図 4-3-4 復旧計画平面図【中島海岸】



堤防標準断面図（北側 起点～No.13+20）



堤防標準断面図（南側 No.13+20～終点）

図 4-3-5 堤防標準断面図【中島海岸】

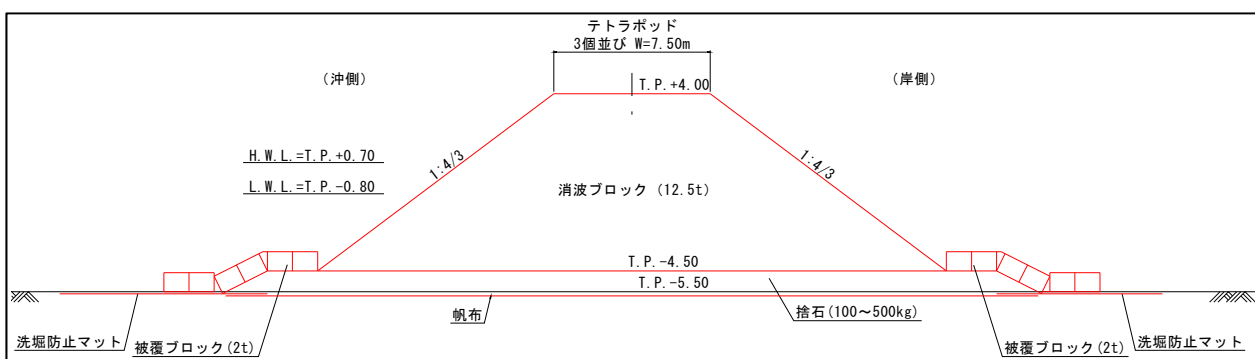


図 4-3-6 離岸堤標準断面図【中島海岸】

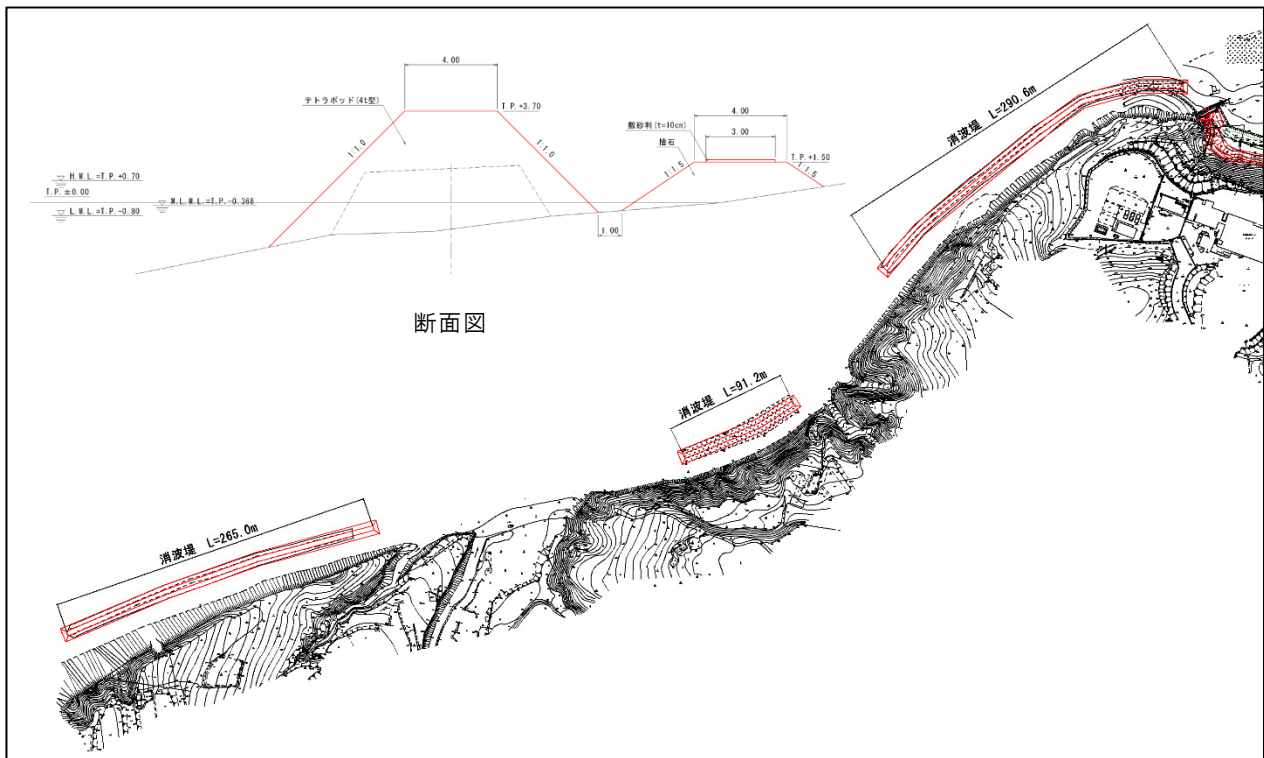


図 4-3-7 消波堤平面図及び標準断面図【中島海岸】

4.環境現況調査

(1) 調査実施状況

表 4-3-1 調査時期一覧【中島海岸】

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
植物	-	冬	春・秋・冬	-	春・夏	夏・秋	春・夏・秋	春・夏・秋
鳥類	-	冬	春	-	-	夏・秋・冬	春・夏・秋・冬	春・夏・秋・冬
昆虫類	-	-	-	-	春・夏	夏・秋	春・夏・秋	春・夏・秋
底生動物	-	冬	春・夏・秋・冬	-	春・夏	夏・秋	春・夏・秋	春・夏・秋

※平成 26 及び平成 27 年度は施工 JV で実施。

(2) 調査結果(海岸及びその周辺で確認された種及び重要種生息・生育状況(平成 29 年度～令和 2 年度))

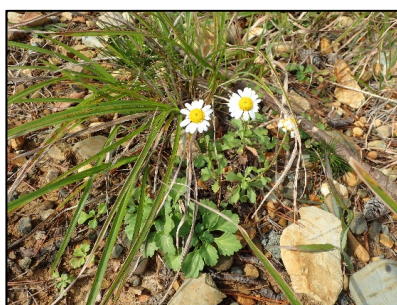
調査実施期間中における各項目の確認種数を以下に示す。

表 4-3-2 調査結果概要【中島海岸】

項目	調査結果概要
植物	平成 29 年度から令和 2 年度までの調査で合計 451 種が確認された。そのうち重要種は 9 種が確認された。
鳥類	平成 30 年度から令和 2 年度までの調査で合計 64 種が確認された。そのうち重要種は 6 種が確認された。
昆虫類	平成 29 年度から令和 2 年度までの調査で合計 640 種が確認された。そのうち重要種は 6 種が確認された。
底生動物	平成 29 年度から令和 2 年までの調査で合計 109 種が確認された。そのうち重要種は 1 種が確認された。



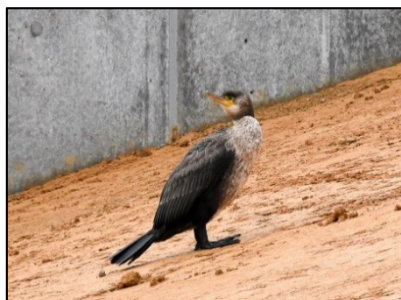
アワコガネギク



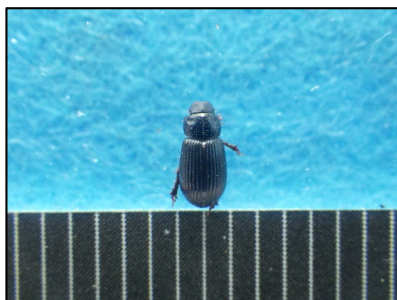
コハマギク



ミミカイツブリ



ウミウ



ヤマトケシマグソコガネ



スナガニ

写真 4-3-1 確認された主な動植物【中島海岸】